

後期中間試験解答用紙 (3E 電気数学)

2006 年 12 月 6 日

電気情報工学科

学籍番号

氏名

1 フーリエ級数を学ぶための基礎

1.1 オイラーの公式

[問 1] 5 点

$$e^{ix} = \cos x + i \sin x$$

[問 2] 5 点

オイラーの公式より,

$$e^{ix} = \cos x + i \sin x \quad (1)$$

$$e^{-ix} = \cos x - i \sin x \quad (2)$$

となる. 最初の公式に $x \rightarrow -x$ とすると 2 番目の式が得ら

れる. これらの式から,

$$\frac{\text{式 (1)} + \text{式 (2)}}{2} \Rightarrow \cos x = \frac{e^{ix} + e^{-ix}}{2}$$

$$\frac{\text{式 (1)} - \text{式 (2)}}{2i} \Rightarrow \sin x = \frac{e^{ix} - e^{-ix}}{2i}$$

と $\sin x$ と $\cos x$ を表すことができる.

1.2 直交関数系

[問 1] 20 点

オイラーの公式を利用して, 問題の式 (2) を計算する.

$$\begin{aligned} \int_{-\pi}^{\pi} \sin nx \sin mx dx &= \int_{-\pi}^{\pi} \left(\frac{e^{inx} - e^{-inx}}{2i} \right) \left(\frac{e^{imx} - e^{-imx}}{2i} \right) dx \\ &= \int_{-\pi}^{\pi} \frac{e^{i(n+m)x} - e^{-i(n+m)x} - e^{i(n-m)x} + e^{-i(n-m)x}}{-4} dx \\ &= -\frac{1}{2} \int_{-\pi}^{\pi} \left[\frac{e^{i(n+m)x} + e^{-i(n+m)x}}{2} - \frac{e^{i(n-m)x} + e^{-i(n-m)x}}{2} \right] dx \\ &= -\frac{1}{2} \int_{-\pi}^{\pi} [\cos(n+m)x - \cos(n-m)x] dx \end{aligned}$$

$m = n$ と $m \neq n$ の場合に分けて, 計算を進める.

$$\begin{aligned} &= \begin{cases} -\frac{1}{2} \int_{-\pi}^{\pi} [\cos(m+n)x - 1] dx & (m = n) \\ -\frac{1}{2} \int_{-\pi}^{\pi} [\cos(n+m)x - \cos(n-m)x] dx & (m \neq n) \end{cases} \\ &= \begin{cases} -\frac{1}{2} \left[\frac{\sin(m+n)x}{m+n} - x \right]_{-\pi}^{\pi} & (m = n) \\ -\frac{1}{2} \left[\frac{\sin(m+n)x}{m+n} - \frac{\sin(m-n)x}{m-n} \right]_{-\pi}^{\pi} & (m \neq n) \end{cases} \\ &= \begin{cases} \pi & (m = n) \\ 0 & (m \neq n) \end{cases} \end{aligned}$$

2 フーリエ級数

[問 1] 20点

フーリエ係数 a_0 と a_n, b_n は, 以下のように求める.

a_0 の計算 問題で与えられたフーリエ級数の式の両辺を区間 $[-\pi, \pi]$ で積分を行う.

$$\int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx = \frac{a_0}{2} \int_{-\pi}^{\pi} dx + \sum_{n=1}^{\infty} \left\{ a_n \int_{-\pi}^{\pi} \cos nx dx + b_n \int_{-\pi}^{\pi} \sin nx dx \right\}$$

問題ので与えられた式 (4) と (5) を使うと

$$= a_0 \pi$$

これより,

$$a_0 = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx$$

となり, a_0 を求めることができる.

a_n の計算 問題で与えられたフーリエ級数の式の両辺に $\cos mx$ を乗じて区間 $[-\pi, \pi]$ で積分を行う—ことにより, コサインの係数の a_n を求める. ただし, m は自然数とする.

$$\int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos mx dx = \frac{a_0}{2} \int_{-\pi}^{\pi} \cos mx dx + \sum_{n=1}^{\infty} \left\{ a_n \int_{-\pi}^{\pi} \cos nx \cos mx dx + b_n \int_{-\pi}^{\pi} \sin nx \cos mx dx \right\}$$

問題で与えられた式 (4) と (1), (3) を使うと

$$= a_m \pi$$

これより,

$$a_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos nx dx$$

を計算することにより, a_n を求めることができる.

b_n 計算 つぎに, 問題で与えられたフーリエ級数の式の両辺に $\sin mx$ を乗じて区間 $[-\pi, \pi]$ で積分を行う.

$$\int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin mx dx = \frac{a_0}{2} \int_{-\pi}^{\pi} \sin mx dx + \sum_{n=1}^{\infty} \left\{ a_n \int_{-\pi}^{\pi} \cos nx \sin mx dx + b_n \int_{-\pi}^{\pi} \sin nx \sin mx dx \right\}$$

問題で与えられた式 (5) と (3), (2) を使うと

$$= b_m \pi$$

これより,

$$b_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin nx dx$$

を計算することにより, b_n を求めることができる.

[問 2] 20点

問題で与えられた関数 $f(x)$ は周期 2π をもち、区間 $[-\pi, \pi]$ で、

$$f(x) = x$$

である。そして、 $f(x)$ は奇関数となっている。

これを利用すると、直ちに

$$\begin{aligned} a_0 &= \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x dx = 0 \\ a_n &= \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos nx dx = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x \cos nx dx = 0 \end{aligned}$$

となる。最初は奇関数 x を区間 $[-\pi, \pi]$ を積分しているため明らかである。二番目の式では、 x は奇関数、 $\cos nx$ は偶関数である。それらの積は奇関数となるので、区間 $[-\pi, \pi]$ での積分はゼロとなるから、二番目の式もゼロである。

つぎに、フーリエ係数 $b_n (n = 1, 2, 3, \dots)$ の計算を行う。

$$\begin{aligned} b_n &= \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin nx dx \\ &= \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx dx \end{aligned}$$

被積分関数は偶関数なので

$$= \frac{2}{\pi} \int_0^{\pi} x \sin nx dx$$

部分積分法を使うと

$$\begin{aligned} &= -\frac{2}{\pi} \left[\frac{x \cos nx}{n} \right]_0^{\pi} + \frac{2}{\pi} \int_0^{\pi} \frac{\cos nx}{n} dx \\ &= -\frac{2 \cos n\pi}{n} + \frac{2}{\pi} \left[\frac{\sin nx}{n^2} \right]_0^{\pi} \\ &= -\frac{2 \cos n\pi}{n} \\ &= \frac{2(-1)^{n+1}}{n} \end{aligned}$$

以上の結果より、問題で与えられた周期関数をフーリエ級数で表すと、次のようになる。

$$\begin{aligned} f(x) &= 2 \left(\sin x - \frac{1}{2} \sin 2x + \frac{1}{3} \sin 3x - \frac{1}{4} \sin 4x + \frac{1}{5} \sin 5x - \frac{1}{6} \sin 6x + \dots \right) \\ &= 2 \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n+1}}{n} \sin nx \end{aligned}$$

3 最良近似としてのフーリエ級数

[問 1] 10点

二乗平均後差を E とすると、以下のように定義できる。

$$E = \frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} [f(x) - S_n(x)]^2 dx$$

[問 2] 15点

具体的な二乗平均誤差は、

$$E(a_0, a_1, a_2, \dots, a_n; b_1, b_2, \dots, b_n) = \frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} \left[f(x) - \frac{a_0}{2} - \sum_{k=1}^n (a_k \cos kx + b_k \sin kx) \right]^2 dx$$

となる。 a_0 と a_k, b_k をパラメーターとして、二乗平均後差が最小になるためには、次式を満たさなくてはならない。

$$\frac{\partial E}{\partial a_0} = 0 \quad \frac{\partial E}{\partial a_k} = 0 \quad \frac{\partial E}{\partial b_k} = 0 \quad (k = 1, 2, 3, \dots)$$

a_0 の計算 二乗平均後差が最小になる a_0 を計算する。そのためには、 $\frac{\partial E}{\partial a_0} = 0$ を利用する。

$$0 = \frac{\partial E}{\partial a_0} = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} 2 \left[f(x) - \frac{a_0}{2} - \sum_{k=1}^n (a_k \cos kx + b_k \sin kx) \right] \frac{1}{2} dx$$

右辺の積分について、問題で与えられた式 (4) と (5) を使うと、

$$0 = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} \left[f(x) - \frac{a_0}{2} \right] dx = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx + \frac{a_0}{4\pi} \int_{-\pi}^{\pi} dx = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx + \frac{a_0}{2}$$

となる。したがって、 a_0 は次のように求めることができる。

$$a_0 = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) dx$$

a_k の計算 二乗平均後差が最小になる ℓ 番目の係数 a_ℓ を計算する。そのためには、 $\frac{\partial E}{\partial a_\ell} = 0$ を利用する。

$$0 = \frac{\partial E}{\partial a_\ell} = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} 2 \left[f(x) - \frac{a_0}{2} - \sum_{k=1}^n (a_k \cos kx + b_k \sin kx) \right] \cos \ell x dx$$

問題で与えられた式 (4) と (1), (3) を使うと、

$$0 = -\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos \ell x dx + \frac{a_\ell}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} \cos \ell x \cos \ell x dx = -\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos \ell x dx + a_\ell$$

となる。したがって、 a_k は次のように計算できる。

$$a_k = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \cos kx dx$$

b_k の計算 二乗平均後差が最小になる ℓ 番目の係数 b_ℓ を計算する。そのためには、 $\frac{\partial E}{\partial b_\ell} = 0$ を利用する。

$$0 = \frac{\partial E}{\partial b_\ell} = -\frac{1}{2\pi} \int_{-\pi}^{\pi} 2 \left[f(x) - \frac{a_0}{2} - \sum_{k=1}^n (a_k \cos kx + b_k \sin kx) \right] \sin \ell x dx$$

問題で与えられた式 (5) と (3), (2) を使うと、

$$0 = -\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin \ell x dx + \frac{b_\ell}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} \sin \ell x \sin \ell x dx = -\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin \ell x dx + b_\ell$$

したがって、 b_k は次のように計算できる。

$$b_k = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin kx dx$$

[問 3] 5点

「2 フーリエ係数 [問 2]」で求めたフーリエ係数と「3 最良近似としてのフーリエ係数 [問 2]」で求めた最小二乗誤差のパラメーターの計算は全く同じである。したがって、フーリエ係数は最小二乗誤差の計算と同じことになっている。